

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手動での LAP 設定](#)

[LAP での LWAPP 設定のリセット](#)

[6.0.188.0 以前の WLC リリースの動作](#)

[WLC リリース 6.0.188.0 以降の動作](#)

[WLC による LAP のリセット](#)

[コントローラに登録された AP でリセット ボタンをディセーブルにする方法](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Lightweight Access Point (LAP; Lightweight アクセス ポイント) 上で Lightweight Access Point Protocol (LWAPP; Lightweight アクセス ポイント プロトコル) のステータス設定情報について、設定、設定解除を手動で行う方法を説明しています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- LAP および Cisco WLC の設定に関する基本的な知識
- LWAPP/CAPWAP に関する基礎知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- ファームウェア リリース 4.1.181.0 が稼働している Cisco 4400 WLC
- ファームウェア リリース 7.0.116.0 が稼働している Cisco 4400 WLC
- バージョン 12.3(7)JX5 が稼働している Cisco Aironet 1240 AG シリーズ AP

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

手動での LAP 設定

新しいインストールでは、LAP が WLC を見つけることができないときディスカバリ アルゴリズムを使用します。コンソールポートおよび AP によってコントローラに加入するのに静的に必要な情報を設定できますか。s CLI。WLC の検出アルゴリズムと Lightweight アクセス ポイント (LAP) の登録プロセスの詳細については、[ワイヤレス LAN コントローラ \(WLC\) への Lightweight AP \(LAP\) の登録](#)を参照してください。

AP CLI インターフェイスを使用して LAP 上のスタティック情報を手動で設定するために、下記の EXEC モード CLI コマンドを使用できます。

```
AP#capwap ap ip address <IP address> <subnet mask>AP#capwap ap ip default-gateway <IP-address>AP#capwap ap controller ip address <IP-address>AP#capwap ap hostname <name> (optional)
```

注 LWAPP を実行する LAP の場合は、前出のコマンドの *capwap* を *lwapp* に置き換えてください。

これらのコマンドはイネーブル モードで発行する必要があります。デフォルトのイネーブル パスワードは Cisco です。

CLI コマンドを使用して設定されたスタティック情報は、AP がコントローラに加入するために使用されます。コントローラへの加入後は、ユーザはコントローラ経由で LAP 上での新しい設定が可能です。

LAP での LWAPP 設定のリセット

ネットワーク内の異なる場所に AP を移動すると LAP が以前の WLC に加入できない場合、あるいは、AP を手動で再設定して別の WLC に加入する必要がある場合、AP が別のコントローラに関連付けられるようにするには新規のコントローラ情報を入力する必要があります。

6.0.188.0 以前の WLC リリースの動作

6.0.188.0 以前の WLC リリースでは、LAP が WLC に正常に登録されると、(前のセクションで説明した)スタティック LWAPP 設定コマンドはロックアウトされ、アクセスできなくなります。

`clear lwapp private-config` コマンドを入力すると、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

```
AP0017.5922.f384#clear lwapp private-config ERROR!!! Command is disabled.
```

このエラー メッセージは、次のどちらかの理由によってスタティック設定コマンドがロックアウトされていることを示しています。

- LAP がコントローラへ登録されている間に、このコマンドが入力された。
- 以前に LAP が WLC に登録されているが、ユーザ名またはパスワードがデフォルトから変更されていない。

コマンドを再度イネーブルにするには、LAP が以前のコントローラに加入している間にユーザ名

とパスワードを設定しておく必要があります。

LAP がコントローラに登録されているとき、AP を設定 するこのコントローラ CLI コマンドを使用して下さいか。s ユーザ名 および パスワード:

```
config ap username <username> password <password> <ALL / AP Name>
```

注WLC 5.0 以降のリリースを実行している場合、このコマンドを使用します:

```
config ap mgmtuser add username username password password secret secret {all / AP Name}
```

以前に設定したパスワードを使用してイネーブル モードになったら、LAP の CLI から次のコマンドを使用して、LAP 上の LWAPP 情報を消去できます。

```
clear lwapp private-config
```

これにより、AP LWAPP のスタティック設定コマンドを再度使用できるようになります。

次に例を示します。

```
Enable (enter password) AP1240#clear lwapp private-configAP1240#lwapp ap hostname
AP1240AP1240#lwapp ap ip address 10.77.244.199 255.255.255.224 AP1240#lwapp ap ip default-
gateway 10.77.244.220AP1240#lwapp ap controller ip address 172.16.1.50
```

WLC リリース 6.0.188.0 以降の動作

バージョン 6.0.188.0 以降では、Lightweight アクセス ポイントを設定する手動設定コマンドが、機能セットまたは加入状態に関係なく、telnet/ssh のセッションおよびコンソールからイネーブルになります。

これは、LAP がコントローラに登録されている場合、または LAP が以前にコントローラに登録されていた際にユーザ名/パスワードがデフォルトから変更されていなかった場合でも、スタティック設定コマンドが機能することを意味します。

WLC による LAP のリセット

以前の方式に加えて、WLC からでも LAP の設定をリセットできます。LAP がコントローラに登録されると、LAP 上の設定をリセットするために、コントローラから下記のコマンドを使用できます。

- AP のスタティック IP 設定を除いて、すべての AP の設定をデフォルトに戻すには、**clear ap-config <ap-name> keep-ip-config** コマンドを使用します。
- AP のスタティック IP 設定を含む、すべての AP の設定をデフォルトに戻すには、**clear ap-config <ap-name>** コマンドを使用します。

コントローラに登録された AP でリセット ボタンをディセーブルにする方法

コントローラに登録された AP でリセット ボタンをディセーブルにするには、次の CLI コマンドを使用します。

```
(Cisco Controller) >config ap rst-button disable <AP NAME>
```

確認

LAP 上の CAPWAP 設定を表示するには、イネーブル モードで **show capwap ip config** コマンドを使用できます。

次に例を示します。

```
AP1240#show capwap ip config LWAPP Static IP ConfigurationIP Address      10.77.244.199IP
netmask      255.255.255.224Default Gateway    10.77.244.220Primary Controller 172.16.1.50
```

トラブルシューティング

スタティック設定のトラブルシューティングを行うには、LAP のコンソール ポートで、次の debug コマンドを使用できます。

- debug ip udp注AP にコンソール ポートがない場合、LAP が接続されているポートの有線のスニファトレースを確認し、どのようなパケットが LAP で受信され、また LAP に転送されているのかを確認する必要があります。

WLC CLI を介してディスカバリ プロセスをモニタするには、次の debug コマンドを使用できません。

- debug capwap events enable
- debug capwap packet enable

関連情報

- [Cisco Wireless LAN Controller コンフィギュレーションガイド、リリース 7.0.116.0](#)
- [Lightweight Cisco Aironet アクセス ポイント用 DHCP オプション 43 の設定例 \(英語\)](#)
- [Wireless LAN Controller と Lightweight アクセス ポイントの基本設定例](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)